

北村 落

K I T A M U R A F U K I



◀北村落さんのInstagramはこちら



金山町町制施行100周年記念映像の

楽曲を制作した北村落さん

「りゅう」「つもれつもれ」の2曲に込めた

想いを語ります



▲北村落さん（山形県出身）／2015年から作曲をスタートし、2023年から東京を拠点に活動を開始／FUJI ROCK FESTIVAL '23 ROOKIE A GO-GOなどに出演。今後の活躍に注目です。撮影者：東京神父 (Instagram...@tokyosinpu)

記念映像の楽曲を制作した北村落さんにインタビュー！

Q／金山町はどんな印象がありますか？

A／金山町に入った瞬間、少し霽が
かかり、それまでとは別の空気感
を感じたのを覚えています。冬は
静かで厳かな雰囲気があり、夏は
大堰公園の鯉が特に印象的でした。
水路を泳ぐ鯉はずっと眺めて
いられました。

Q／この楽曲にはどんな想いが
込められていますか？

A／楽曲には今ある金山町の景色が
これからも続くようにと、想いを
込めました。歌詞を書く時に想像
していた景色は、雪の積もった金
山の田園風景です。その田園にポ
ツと1人で立ち、目を瞑っている
自分を想像すると様々な言葉が
思い浮かびました。

Q／映像制作に携わって初めての
感想を聞かせてください

A／町に暮らす人々の、金山町に対
する想いの強さや、町の伝統や文
化を感じることが出来ました。音
楽を通じて金山町と関わった事に
感謝の気持ちでいっぱいです。金
町の事を深く知り、改めて素敵な
町だなと思いました。

りゅう

風が止み雫の音が背を包む
光は闇目を凝らせば移り変わる
北西の鳥 飛び立つ時 街並みも
顔色を変えず佇んでる
雪解けを待つ 木の幹 針のように
慎ましく光った暮らしを見た
峰を四方にめぐらして 模る私の輪郭を
瞳輝きは波紋のように
どこまでも続いてゆける
一番星 霧の中も輝いて
眠る臉に夢を添えてゆく
先行く人 追う眼差し
忘れぬように刻んでく
時を超えた想い
蕾開く時を待つ 囁き出す水や花びら
瞳輝きの源を知り この時もまた巡って
峰を四方にめぐらして 模る私の輪郭を
瞳輝きは波紋のように
どこまでも続いて
蕾開く時を待つ 囁き出す水や花びら
瞳輝きの源を知り この時もまた
峰を四方にめぐらして 模る私の輪郭を
瞳輝きは波紋のように
どこまでも続いてゆける

つもれつもれ

つもれつもれよ
一面に
並んだ屋根と比べては
おなじ帽子をかぶってる
笑った顔に雪綿毛
つもれつもれよ
岩肌に
つもれば龍の鱗模様
お天道様をうらへては
明日の空は吹雪かな
つもれつもれよ
水のたね
つもれば
春は葉が茂る
音を立てずに降りてきて
去る時川が騒ぎ出す



旧中田小学校のグラウンドで行われた

記念映像撮影の様子



◀100周年
記念映像
はこちら

